

# 令和7年度 第5回 保倉区地域協議会

## 次 第

日時：令和8年2月5日（木）午後6時～

会場：保倉地区公民館 研修室

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

#### 【自主的な審議】

- ・消防団・体育委員との懇談会振返りについて
- ・令和8年度の進め方について

### 4 その他

- ・次回地域協議会

令和8年 月 日（ ）午後6時～ 保倉地区公民館

### 5 閉 会

## 消防団・体育委員の皆さんとの懇談会（R7. 11. 25 実施）振り返り

## (1) 懇談会の目的

地域協議会で地域活性化や地域課題の解決を協議するに当たり、地域の声を取り入れる

## (2) 参加者リスト(出席 10 人)

班	役職	性別	年齢	住まい	子ども	備考
A	体育委員・U	男	39	下百々	高校生	建設業
	体育委員・F	男	44	小泉	小学生・中	営業職
	体育委員・O	男	-	長岡新田	中・高・成人	建設業
	体育委員、消防団・S	男	37	上名柄	小学生	建築業
	消防団・T	男	38	上名柄	-	廃棄物処理業
	体育委員・K	男	38	岡沢	-	公務員
B	体育委員・K	男	51	上名柄	小学生	-
	体育委員・T	男	50	下青野	小学生	電気設備業
	体育委員・O	男	36	岡沢	保・小学生	公務員
	消防団・T	男	47	下吉野	小学生・高	電気工事業
	消防団・W	男	-	下五貫野	欠席	

・消防団・体育委員男性（平均 42 歳）9 割が保倉出身（子育て世代女性は 9 割が保倉外出身）

・自身が小学生だった頃や社会人となって保倉地区の行事に参加した共通の思い出があることを確認

## (3) 地域の一体感を高める取組について

## ■早朝ラジオ体操

感想・実態	具体的なアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内ばらばらな状態が続いているのに、地区みんなまでラジオ体操をやるのはどうなのか</li> <li>・町内では子ども 2 世帯のみで、継続できない</li> <li>・町内では子どもが少なく、同級生もいないので隣の町内に行っている</li> <li>・町内ではコロナきっかけにやめて復活しない</li> <li>・子どもがいないと参加しづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会のラジオ体操実施状況を洗い出す。子ども会に聞いてみる</li> <li>・子どもだけではなく、大人の関わりも必要。前に立つ人を 6 年生だけではなく、町内会持ち回りにしてはどうか</li> <li>・保倉地区の役員の顔を知ってもらうため、役員も前に出る</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 年生は地域貢献を学習しているので張り切って参加していた。6 年生が前に立つ意識がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会単位で参加し、特典を設ける →例) 花火セット、夜に集まる思い出もできる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み、同級生に会える貴重な機会になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操+生態観察とコラボして集約する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは正直なところ、面倒くさがる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操後にちょっとしたイベントで楽しむ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンコ押印をしてあげたら、子どもは喜んで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンケン大会・抽選会・輪投げ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにも地域の行事に参加する大切さを教えるために、参加を続けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝探し（積雪シーズンでも可）</li> <li>・クイズ（AB の選択で、保倉にまつわる問題）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の人が集まって一体となってやるのは気持ちがいいことだと思った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数だからこそできる、ギネスチャレンジのようなもの（歩こう会の雨天案にも利用）</li> </ul>

## ■保倉歩こう会+100 キロマラソン応援

感想・実態	具体的なアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まってできたことはいいこと</li> <li>・幅広い年齢層が参加でき、楽しかった</li> <li>・また来年も楽しみにしているという声を聞いた。集まれば楽しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは体育館やグラウンドで遊ぶ方が喜ぶ</li> <li>・町内から〇人選出することより、当日参加者で紅白に分かれてミニ運動会をする</li> <li>・生涯スポーツの体験</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩くことが苦手、時間内で帰ってくるのが難しいのではないかと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会館スタートで、その町内がコースや催しを企画。短い距離で数回行う</li> <li>・観桜シーズン、田植えを終えた初夏</li> <li>・「歩こう」は小学校の遠足に地域が関わることも検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まる目玉がほしい。子どもが行かなければ（独身や子育てが終わった世代）、参加しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お笑い芸人を呼ぶ</li> <li>・市の事業を保倉に誘致する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保倉を知ろう」が目的なのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保倉だけに限らず広く広報する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・100 キロマラソンは来年で最後なら、案を出しても仕方ない。そのままでもいいのではないかと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北諏訪の人にも応援に駆けつけてもらう</li> <li>・走っている人の名前を呼ぶ</li> <li>・太鼓・CD・消防団のラップ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保倉区通過は 80 キロを超えていて、体力的に厳しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットと一緒に応援・剣の舞衣装・仮装</li> <li>・応援幕作成・沿道装飾（保・小・体育館利用団体・企業ほか）</li> <li>・応援個所の駐車場の確保が心配</li> </ul>

## (4) 地域への関わりについて

(地域協議会会長)・災害が多発している日本国内において、地域コミュニティが果たす役割は非常に大きいと感じている。コロナで失った地域コミュニティをそのままにしておいていいのか。
(消防団)・地域で挨拶をしたり世代を超え、声をかけやすくしておく。地域イベントに参加し、顔を合わせたつながり作りが災害対策であり、地域貢献。
(消防団)・「歩こう会」は消防団への要請があってもよかった。これまでの地区運動会では体育委員と消防団で運営していたので、復活してもよいと思う。消防団員を増やすために、地域の行事にも協力する。
(消防団)・歩こう会と他イベントの同時開催。参加者がほとんど同じであれば 1 日で終わらせる。消防団訓練の見学、防災訓練、健康リーダー、食推、公民館・・・役員の顔合わせの場にもなる。
(消防団)・人の集め方、慰労会の考え方、担当者の兼務、各町内選出で具体的動きがない役割の精査
(消防団)・一体感を高めるにはある程度の強制は必要。行事の参加要請は嫌な思いもするが、そうすることによって人が集まる。
(体育委員)・要請があり、体育委員だから参加した。体育委員としての仕事がよく分からない。
(体育委員)・子どもたちに大人も交えて地域行事に参加する姿を見せ、自分たちもやってみたいと思うように育てたい。それが継続につながる。
(体育委員)・地域行事の運営側に回れるかといわれると、苦に感じる。
(体育委員)・ターゲットを絞った協議。子どもの楽しいこと、それぞれの世代で求めるものを確認する。
(地域協議会委員)・若い人の意見を聞いて、それほど大きなズレはないことが分かった。考えは似たような部分があって、積極的に地域に関わりたい声も聞こえ、根の部分は一緒に同じ空気を吸うような感じでよかった。

## 保倉歩こう会 振り返りまとめ

R7.9.25 北諏訪まち振視察研修 北諏訪で参考にしたいこと	振り返り 場面	「保倉歩こう会」振り返り	R7.10.11-20「保倉歩こう会」QRコード感想募集 13件の回答（回答者年代 30～40代：43%、50～60代50%）
活動する（参加する）人が楽しいと思うことを実践する	R7.10.23 第4回 地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんでいる人の姿を見ることによって、自分たちも楽しくなると実感できた</li> <li>・食べ物を出すのが魅力的。キッチンカー等の利用を検討</li> <li>・子どもを中心とした地域活動はとていいこと。子どもたちが持っているエネルギーを発揮してもらうことで、地域が元気を感じる。子どもの参加促進が必要</li> <li>・「歩きたい」のは年配者が多いのではないか</li> <li>・「ミニ運動会」は子どもや女性に人気ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内レクの方が地域の方と会話できた。世代を超えて交流でき、参加してよかった</li> <li>・懐かしい人と久しぶりに会話できた</li> <li>・地域の人とコミュニケーションできてよかった</li> <li>・保倉地区の交流が深まった</li> <li>・天候により、ミニ運動会となり残念だったが、自分だけではなく皆さんも楽しめていたようでよかった</li> <li>・大人と子どもと一緒に体を動かすことができてよかった</li> <li>・子どもと参加して楽しかった。子どもものびのび、楽しく過ごせた</li> <li>・配られた長岡の歴史を紹介する資料は、地域を知る良い資料だった</li> <li>・またバレーボールを復活させてもよいのではないか</li> </ul>
	R7.11.25 消防団 体育委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まってできたことはいいこと。幅広い年齢層が参加でき、楽しかった。集まれば楽しい。</li> <li>・また来年も楽しみにしているという声を聞いた</li> <li>・子どもは体育館やグラウンドで遊ぶ方が喜ぶ</li> <li>・町内から〇人選出することより、当日参加者で紅白に分かれてミニ運動会をする</li> </ul>	
楽しんでいる姿の共有	R7.10.23 地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合写真などを町内回覧版で共有する。参加できなかった人にも、楽しそうな様子を共有する</li> </ul>	
	R7.11.25 消体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保倉だけに限らず広く広報する</li> </ul>	
イベントを育てて継続させる	R7.10.23 第4回 地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中断はよくない。継続するためにも、春あたりに「歩こう会」を実施できないか</li> <li>・行事に関わる人たちの歴史が、組織としてやらなければいけない意識を生み出す</li> <li>・保倉地区は広いので、町内会活動に参加しても、保倉地区の活動には足が遠のく人がいる。プラスに考えれば、「歩こう会」で各町内の歴史を知るような取組は魅力がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員さん、準備、運営、ありがとうございました</li> <li>・晴天案と雨天案を前日に知らせることができればよかった</li> <li>・今回のミニ運動会の盛り上がりを見ると「歩こう会」と「ミニ運動会」は分けてもよいのではないか</li> <li>・「歩こう会」は雨天なら延期</li> <li>・玉入れのような誰でも参加できる種目があったらよい</li> <li>・初めてだから楽しめたのであって、継続させることは大変。若い方の意見も参考に計画した方がよい</li> </ul>
	R7.11.25 消防団 体育委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩くことが苦手な子どもや年配者もいる、時間内で帰ってくるのが難しいのではないか</li> <li>・各町内会館スタートで、その町内がコースや催しを企画。短い距離で数回行う</li> <li>・観桜シーズン、田植えを終えた初夏に歩く</li> <li>・「歩こう」は小学校が頸城区希望館に行く遠足に、地域に関わるやり方も検討</li> </ul>	
組織運営 各団体の巻き込み	R7.10.23 第4回 地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の長を活用して、声を掛け人を集める</li> <li>・分野ごとに責任者に任せ、自分の親しい人で組織を作り、運営してもらう</li> <li>・若い世代に積極的に関わってもらう。「歩こう会」はある意味お手本ができています</li> </ul>	
	R7.11.25 消防団 体育委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長から要請があり、体育委員だから参加した</li> <li>・消防団への要請があってもよかった。これまでの地区運動会では体育委員と消防団で運営していたので、復活してもよいと思う。消防団員を増やすために、地域の行事にも協力する。</li> <li>・一体感を高めるにはある程度の強制は必要。行事の参加要請は嫌な思いもするが、そうすることによって人が集まる</li> </ul>	
若手の関わり 若い世代と話し合う、 組織の見直し	R7.11.25 消防団 体育委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育委員としての仕事がよく分からない</li> <li>・人の集め方、慰労会の考え方、担当者の兼務、各町内選出で具体的動きがない役割の精査</li> <li>・子どもたちに大人も交えて地域行事に参加する姿を見せ、自分たちもやってみたいと思うように育てたい。それが継続につながる</li> <li>・歩こう会と他イベントの同時開催。参加者がほとんど同じであれば1日で終わらせる</li> <li>消防団訓練の見学、防災訓練、健康リーダー、食推、公民館・・・役員の顔合わせの場にもなる</li> <li>・地域行事の運営側に回れるかといわれると、苦に感じる</li> </ul>	

# 顔の見える関係で、安心して心地よく保倉で暮らしたい！ 災害多発の中で、地域コミュニティが命を守る！

(子) : R6.12.11 子育て世代  
(健福) : R7. 5.29 健康福祉関係者  
(消体) : R7.11.25 消防団・体育委員

## ○集う(つどう)難しさ、率直な気持ち

- ・地域の人たちが集まり、一体感を感じられる機会が少なくなっている(健福)
- ・人とのつながりが薄れている(健福)
- ・今の子ども達は地域行事に行かないのが当たり前(子)
- ・地域の事をあまり知らない。関心が低い(子)
- ・今の時代の土日の過ごし方はそれぞれ(健福)
- ・30-40代の人々の意向が分からない(健福)
- ・これまでのバレーボール等は人数集めが負担で辞めてしまった(健福)
- ・町内会から要請があり、体育委員だから参加した(消体)
- ・体育委員の仕事が分からない。役がなければいけない(消体)
- ・集まる目玉がほしい。独身や子育てが終わった世代は参加しない。(消体)
- ・地域行事の運営側に回れるかという、苦に感じる
- ・コロナで各取組が中止となり、1回途絶えて再度やるとなるとハードルが高い(健福)
- ・郷土芸能の後継者がいない(健福)
- ・関係者を中心に人集めを行い、できる範囲でまずは楽しく行う(健福)
- ・地域外の参加者を取り込む(消体)
- ・町内会から○人選出より、当日参加者が紅白に分かれて実施する(消体)

活動する、参加する人が  
楽しいと思うことを実践する

組織運営、各団体の巻き込み

## ◆暮らしに直結する地域活動 (町内会活動の維持)

- ・町内会や子ども会には参加したい(子)
- ・保倉全体で考えるより、町内会活動が身近に関心が高い(健福)

## ○暮らしの中での心配事(孤立する人たちへの手の差し伸べ方)

- ・高齢者・一人暮らしの見守り(健福)
- ・安全に関して、防犯対策、災害対策、交通安全、インフラ整備が課題(子)(健福)
- ・高齢独居でゴミ出しにサポートが必要な人がいる(健福)

## ○集う(つどう)を求める声、つながる意味

- ・子育て世代には(特に嫁いできた女性には)学校の行事が、数少ない地域との接点(子)
- ・集まることが情報交換になる(健福)
- ・関わらないとどんな人が住んでいるのかも分からない(健福)
- ・隣近所や町内会で遠慮せずに助け合える関係を築きたい(健福)
- ・大勢の人が集まって一体となって取り組むことは気持ちがいいこと(消体)
- ・顔を合わせたつながり作りが災害対策であり、地域貢献(消体)
- ・1つのことを皆でやる体験、多くの人に参加するイベントを継続し、定着させ、次の世代に引き継ぐ(健福)
- ・地域行事に大人が携わる姿を見せる。楽しさを経験させる(健福)
- ・楽しんでいる人の姿を見ることで、自分たちも楽しくなる(消体)

## ◆地域の次の世代を育てる (ALLほくら・保倉地区の維持)

- ・次の世代にやってほしいとバトンを渡す。少しずつ関わってもらい、場数を踏む(健福)
- ・消防団は消防団員を増やすために、地域の行事にも協力する(消体)
- ・行事に関わる人たちの歴史が、組織としてやらなければならない意識を生み出す(消体)
- ・ある程度の強制力は必要。参加要請は嫌な思いもするが、そうすることで人が集まる(消体)
- ・労いの場で、本音で語り関係づくり(消体)
- ・人の集め方、慰労会の考え方、担当兼務、役職の精査(消体)

～具体的に動いていく～  
早朝ラジオ体操  
歩こう会(ミニ運動会)  
100キロマラソン応援

- ・学校行事なら参加しやすい(子)
- ・子育て世代は学校行事に夫婦で参加する。若い人は協力しないのではなく、子どもの為なら動く(健福)
- ・子どもを集めないと大人は来ない(子)
- ・子どもの意見も聞いてほしい(子)(消体)
- ・子どもが喜ぶことをやってみる(健福)
- ・外孫が参加しても楽しい企画(健福)
- ・子どもたちが持っているエネルギーを発揮してもらうことで、地域が元気になる(消体)

## ◆子ども(保倉小学校)を真ん中に集う 親も子も地域に関わる入口

- イベントを育てて継続させる
- 若い世代の関わり、組織見直し
- 楽しんでいる姿の共有

関係づくり・交流  
共通の体験・思い出

## ◆令和の地域情報のあり方

- ・子どもや孫がいないから関係ないとならないように(健福)
- ・参加できなくても、みんなが知っていることが大事(健福)
- ・地域で今、何をしようとしているのかを見えるようにする(健福)
- ・インターネットを活用した意見募集や情報発信を検討してほしい(子)
- ・小学校のスポフェスで地域種目があったことは知らなかった(健福)
- ・成功体験をPRする。時には地域の人に寄稿してもらう(消体)

- ・車がないと生活できない(子)
- ・子どもが一人で自転車ででかけることも難しい(子)
- ・子どもが安全に集まって過ごせる場所があると助かる(子)